

京學知 きやうがくち 歌人、僧侶。元治二年二月一日尾張國葉栗郡松竹村生れ、大正十四年四月十四日歿（八五―九五）。注屋京喜兵衛の第三子。少時より學を好み、二十歳餘り發心して京都西七條梅林寺にて剃髮。明治二十二年頃慶應義塾に入り洋學を修めると、二十四年法兄も古原學映の後を襲いで京都東寺念佛寺に入り入住。堂宇の再建と境域の擴張に努め、生前少僧止に任じた。

また和歌を細辻昌雄、毘尼薩台巖に學び、歌集『彌生集』（大正十五年四月十二日京都・京學洲編刊）を遺した。

